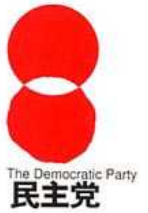


元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER
ニュースレター

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : g04091@shugii.n.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

2005年3月4日 No.102

板川文夫越谷市長3選出馬を表明

3月3日、越谷市議会で板川文夫越谷市長が3期目の市長選に出馬する意向を表明しました。今年10月に行われる市長選挙には、板川市長のほか、前市長の息子さんである島村玲朗（あきお）氏が立候補を表明しています。板川市長と私の縁は古く、明治大学在学中からの付き合いです。お父様の板川正吾元代議士は昨年他界されましたが、もともとは文夫さんとの関係で元代議士にお目にかかり、私とその選挙区を引き継ぐ形で総選挙に出ることになったものです。そうした私情を抜きにしても、板川市長はよくやっていると思います。「市民との協働によるまちづくり」は進み、財政の健全化や子育て支援など、成果は目に見えて現れています。しかし、今回の相手は強力であり、決して油断できません。皆様のご協力を心よりお願いいたします。（細川律夫HPより）

05年度予算、衆議院を通過

3月2日、2005年度の予算案が政府原案のまま衆議院を通過しました。一般会計予算の総額は82兆1829億円、そのうち税収は44兆円で国債依存率が減ったといってもまだ41.8%です。家計に例えれば年収440万円の家庭が1年で822万円使っていることとなります。こんなことがいつまでも続けられるとは思えません。

衆議院の予算審議をみても、小泉総理は居直りとはぐらかしばかりで、中身のある論戦になりま

せんでした。民主党は独自の予算案を提案したものの、数の力で政府案を通されました。

「水害」でセミナー開催

2月5日、民主党3区セミナーが越谷で開かれました。「越谷・草加で大きな水害が起こるのか」というテーマで、国土交通省江戸川河川事務所と埼玉県中川・綾瀬川総合治水事務所より講師をお招きし、治水対策の現状と今後について話を聞いた後、質疑応答を行いました。去年は多くの台風が上陸し、水害に見舞われた地域も多く、実際に被害に遭った市民の皆さんから活発な意見が出されました。温暖化の影響で大雨は以前より多くなっています。国、県、市が連携をとって、一層の対策を進めないと、ますます市民の安全が侵されることとなります。



国会見学の小学生にあいさつする細川律夫議員

京都議定書発効

2月16日は、歴史的な国際法が最初の一步を踏み出す日になりました。地球温暖化に対処するために、先進国に二酸化炭素など温室効果ガスの削減を義務づけた京都議定書が2月16日午後2時に発効したのです。日本は2012年までに今の水準から14%の削減が必要であり、真剣に対策を見直さなければなりません。また、最大の排出国である米国がこの議定書を拒否しているなどの問題もあります。

しかし、1997年12月に気候変動枠組み条約第3回締約国会議（COP3）が京都で開かれ合意された議定書が7年以上経って発効したことについては、大変感慨深いものがあります。私が環境委員長に就任したのが99年10月で、当時は京都議定書の細目を詰める作業が行われていました。そうした背景で、私の委員長提案としてグリーン購入法が成立しました。これは、官公庁が率先して例えば二酸化炭素排出量の少ない自動車のように、環境負荷の少ない物品を購入しようというもので、この流れは確実に民間にも広がっています。循環型社会基本法が成立したのもこの頃です。このとき民主党は、政府提出の法案は不十分だとしてさらに徹底したリサイクル社会を目指す提案をしました。あれからまだ4年しか経っていませんが、リサイクルやゴミの減量へ向けた取り組みも進んでいます。

21世紀は環境の世紀と言われるように、自然と調和した生き方が今以上に求められてくるでしょう。そのために努力するのは政治家としての使命です。（細川律夫HPより）

決算行政監視委員会視察へ

細川代議士が委員長を務めている衆議院決算行政監視委員会は、予算案の審議中はほとんど開かれません。これは関係の大臣が予算委員会に出席してしまうためです。予算が成立した4月以降に、

平成15年度決算をめくり、本格的な審議が始まります。その前の3月中旬、先ごろ完成した中部国際空港（セントレア）への視察が予定されています。



議員会館での会議で発言する細川律夫代議士

ハイタク政策懇談会に参加

タクシーは規制緩和以来車が増えすぎ、乗務員の収入は減り、無理をするためか事故は増えるなどさまざまな問題が起こっています。この度、規制緩和の見直しなどを視野に入れ、事業者、乗務員、学者などからなるハイタク政策懇談会が発足、細川律夫代議士は民主党を代表してこの会に参加しました。

細川さんから一言

今日は久し振りに大雪となり
います。
来年度予算案が3月2日に衆院
で可決し参院に送付されました。
マスコミからは議論が低調
だと批判されていますが、
福田は小泉総理の国民代表の
国会に対する姿勢においいます。